

第6回（平成23年）  
「大和郡山・金魚検定」

# 解 説

<分 野… 大和郡山>

<難易度… 初 級>



大和郡山・金魚検定認定委員会

### 問題1

【正 答】 ③ 弥生時代

【解 説】

西田中遺跡では1983～85年と1997～2000年に発掘調査がおこなわれ、弥生時代中期を盛期とする集落遺構が検出されている。調査では、この集落が廃絶した後の古墳時代や奈良時代の遺構も確認されている。竪穴住居は縄文時代以降、地域によっては古代まで採用される住居。磨製の石斧や石包丁は大陸から稲作とともに伝わった道具で、日本で弥生時代に本格的に普及し、水稻耕作に大きな影響を与えた。出土遺物の一部は、大和郡山市役所玄関脇にある展示ケースで2011年4月から展示中である。

【参 考】

『西田中遺跡第1・2次発掘調査概要報告』大和郡山市教育委員会1985

『西田中遺跡 藤原宮造瓦所の調査』大和郡山市教育委員会2000

リーフレット「矢田丘陵周辺の弥生時代集落」大和郡山市教育委員会2011

### 問題2

【正 答】 ② 中でも大刀形埴輪は大和郡山市でもこの古墳からしか出土していない特徴的な埴輪

【解 説】

大刀形埴輪は西町に所在する南方古墳から出土した。現在市内では南方古墳からしか出土しておらず、県内でも珍しい埴輪である。水晶塚古墳は発掘調査で初めて確認された古墳で、小字から水晶塚古墳と命名された。墳丘に立てられていたと思われる木製品が良好に残存していたことが特筆される。地中レーダー探査などから全長50mほどの前方後円墳とされている。周辺では同じように墳丘の痕跡を全く残さない古墳が確認されており（申墓古墳）、一帯には現在わかっているよりも多くの古墳が築造されていた可能性が高い。

【参 考】

『八条遺跡』奈良県立橿原考古学研究所2006



水晶塚古墳の発掘調査と鳥形木製品

**問題3**

【正 答】 ① 植（殖）槻寺

【解 説】

植槻町に所在していたと考えられている寺院。『正倉院文書』などから奈良時代を通じて活動していた形跡を認めることができるが、詳細は不明である。植槻町で大和郡山市水道局を建設する際におこなわれた事前調査では、橿原市に所在する久米寺と同じ型式の瓦（写真）が出土しており周辺に瓦葺きの建物が所在していた可能性を示している。②～④は奈良市域に所在する京内の寺院。

【参 考】

『平城京発掘 - ここまでわかった奈良の都 - 』奈良県立橿原考古学研究所2010



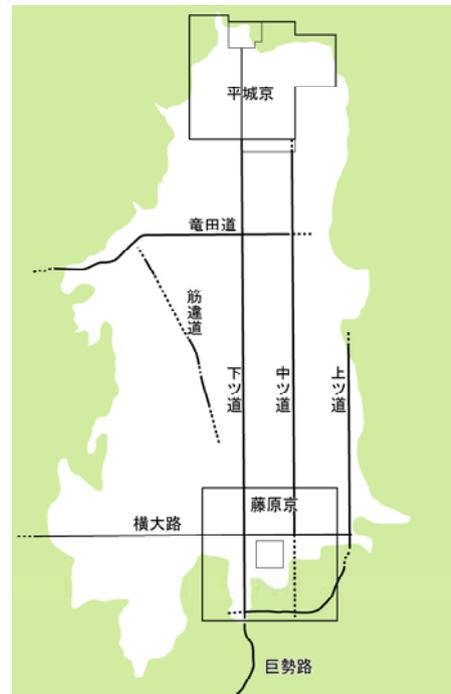
出土した軒平瓦

**問題4**

【正 答】 ② 上ツ道

【解 説】

下ツ道、中ツ道、上ツ道は奈良盆地を南北に縦断する直線道で、壬申の乱の舞台になるなど、古代から重要な交通路とされていた。特に下ツ道は、市内では稗田町や八条町で発掘調査がおこなわれ、道路の両脇に設定された側溝が確認されている。中ツ道は市の東端付近を通る。上ツ道は現在の天理から桜井に設定された。竜田道は現在の国道25号線の部分に想定されている東西方向の道路で、下ツ道と中ツ道の間から斑鳩方面に向かう。



奈良盆地内の古道

### 問題5

【正 答】 ② 和同開珎

【解 説】

遺構に伴って出土したものではないが本来は地中に埋納した壺と推定される。同様に銅銭で口を塞いだ土器を埋納する事例は藤原宮にある。藤原宮では大極殿院南門につづく回廊の下に水晶を納めて富本銭で口を塞いだ平瓶を埋納していた。このような土器は地鎮に伴うものと考えられ、平城京内でも同様の祭祀をおこなったようだ。この壺は、2011年4月からイオンモール大和郡山内の元気城下町プラザで展示中。



【参 考】

『平城京右京八条二坊五・六・十一・十四坪』大和郡山市教育委員会2009  
リーフレット「平城京西市」大和郡山市教育委員会2010

### 問題6

【正 答】 ③ 稗田阿礼・舎人親王

【解 説】

『古事記』は、郡山の稗田が出身と伝えられる稗田阿礼が誦み習った古い記録を太安萬侶が筆録し、和銅5年（712）元明天皇に献じたものである。

『日本書紀』は、養老4年（720）5月に舎人親王の主裁の下に多くの委員の手によって完成し朝廷に奉られたものである。

【文 献】

『世界大百科事典』（平凡社）『日本歴史大事典』（河出書房新社）

### 問題7

【正 答】 ④ 叡尊

【解 説】

鎌倉時代に仏教の中興を目指し、釈迦の教えの原点に立つことを主張したのが叡尊で、のち、文殊菩薩を深く信仰する弟子忍性と共に文殊菩薩像を各地に安置して貧民救済の活動に生涯を捧げた。死後「興正菩薩」のおくり名が授けられた。

【文 献】

『叡尊忍性』（吉川弘文館）

### 問題8

【正 答】 ② 鎌倉時代

【解 説】

1928年、用水池の掘削中に発見された瓦窯。同じ構造の窯が3基並んで築かれている。現在は最も残りが良い1基を露出保存しており、覆屋内で見学することができる。出土した瓦から鎌倉時代に操業されたものとわかる。立地や操業時期から、近接する額安寺中興に用いる瓦を焼成した窯と考えられている。窯の構造としては同時代ではよく用いられたもので、同様の構造は奈良時代からみられる。1929年4月2日史跡に指定。

【参 考】

『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告』第13冊 奈良県1935

### 問題9

【正 答】 ② 織田信長

【解 説】

天正4年（1576）5月10日 筒井順慶は先に戦死した大和守護原田直政のあとを受けて織田信長から大和守護に任ぜられ、一国一城の主として郡山城を築いた。当時『多聞院日記』は次のように記している。「和州一国一円 筒井順慶可有存知之由、信長ヨリ明智十兵衛・万見専千代両使ニテ被申出之由…」

【文 献】

『筒井順慶とその一族』藪景三（新人物往来社）

### 問題10

【正 答】 ④ 廃城後に当時の建物はすべて失われ、現在建っている櫓や門はすべて復元されたものである。

【解 説】

現在ある郡山城の追手門、追手東隅櫓、追手向櫓といった城郭建築は、昭和57～62年に市民団体「明日のお城と城下町を考える会」によって復元されたものである。石垣や堀などは特に内堀の内部で良好に遺存しているが、江戸時代以来の建築物は廃城後すべて失われている。①外堀の普請は増田長盛。②城郭が築かれた丘陵は西ノ京丘陵。③中心部が県史跡となっているが、指定範囲は内堀の内部。

【参 考】

『大和郡山城』城郭談話会2009

問題 1 1

【正 答】 ③ カトリック大和郡山教会

【解 説】

明治維新になって新政府は祭政一致・神道国家主義による国策にそわないキリシタンの取締まりを打ち出した。慶応4年(1868)郡山藩には浦上キリシタン86人が預けられ、茶町の雲幻寺(現良玄禅寺)がその宿舎となった。その後宿舎が次々に変えられ、天川村の銀鉦山など各地で苦役を強いられた。明治6年(1873)に帰郷が許されるまで、6信徒が殉教している。その名を刻んだ墓碑が、初め雲幻寺に建てられ寺で供養していたが、その後、カトリック大和郡山教会に移され、11月3日に慰霊ミサが献じられている。

【文 献】

『奈良 大和路の歴史を歩く』 藪景三 (新人物往来社)

問題 1 2

【正 答】 ② 番条町

【解 説】

「番条のお大師さん」と称して、毎年番条町で行われる「出開帳」が最近とみに有名になり、大勢の人が訪れる。江戸時代の文政13年(1830)にコレラが流行し、それがきっかけで村人が申し合わせて弘法大師を信仰するようになり、ちょうど家数も88軒ほどあったので1軒1軒に大師像をまつり、1番から88番まで決めたという。

【文 献】

『大和郡山歴史散歩 城と川のある町』 鈴木良 編(文理閣)

問題 1 3

【正 答】 ② つながり

【解 説】

昭和43年3月に第1号を発刊。第13号から名称を市民から公募した「つながり」に変更した。現在は毎月2回の発行で市のお知らせや市内の行事などを掲載し、文字どおり市民と行政の「つながり役」を果たしている。③は天理市の広報紙の愛称。



**問題 1 4**

【正 答】 ③ 金魚すくい初め

【解 説】

1年を通じて金魚すくいができる道場のPRなどを目的に一昨年から開催。書道やそろばんなどと同様に、年の初めに金魚すくいを行うことで新年を祝おうと、道場の門下生らがミニ大会などを楽しんでいる。なお、年末には「金魚すくい納め」も行っている。

**問題 1 5**

【正 答】 ① 今井町

【解 説】

平成23年3月に全線開通した藪町線沿いに、ボランティアガイドが常駐する「箱本十三町観光案内所」がオープンした。白壁に瓦屋根の蔵を利用した案内所で、観光客に城下町・大和郡山の魅力を発信している。郡山ファンの増大を図ると共に、地域住民の活動拠点として広く利用できるので地域の活性化を促進する施設としても注目されている。

【参 考】

大和郡山市観光協会 HPに掲載

**問題 1 6**

【正 答】 ④ 第51回

【解 説】

「お城まつり」は、昭和36年（1961）当時の観光協会の広瀬元次郎会長が郡山城跡の天守台をはじめその石垣の中に多数の石仏、墓石が積み込まれているのを知り、これらの石仏並びに城史有縁の諸霊を慰めることが、大和郡山市の発展につながると考えて始められた。豪華絢爛な時代行列、市民パレード、柳澤神社の奉告祭、金魚品評会・即売会、城下町物産展等々、盛りだくさんの各種イベントを開催して、元気な城下町・大和郡山市を全国にアピールしている。

【参 考】

大和郡山市観光協会HPに掲載

**問題17**

【正 答】 ① 映画館

【解 説】

かつては、朝日町・今井町・南郡山町等で営業されていたが、昭和30年代後半にテレビの普及に伴い閉館となった。今年7月にこの施設ができるまで、市内には映画館は無く、この度のオープンにより大和郡山市に多くの人に来ていただく機会になることが期待されている。

**問題18**

【正 答】 ③ 50

【解 説】

昭和35年に商工会法が施行され、全国的に初期に設立された商工会は、平成22年度に50周年を迎えた。大和郡山市商工会では、「支えられて。感謝の50年」と題し、記念式典の他に、「ベトナム・バンブー in コンサート」や郡山城跡において「御殿太鼓の響宴」などの記念イベントを開催し多数の方に楽しんでいただいた。

**問題19**

【正 答】 ① 元気城下町から、日本を笑顔に

【解 説】

このフレーズには全国金魚すくい選手権大会を通じて東日本大震災で被災された方の一日も早い復興を願う思いが込められている。

**問題20**

【正 答】 ② 藺町線

【解 説】

この道路は、市道新紺屋豆腐藺本線で、城下町の背骨とも言うべき幹線道路としての役割が期待されている。その名称に「新紺屋」「豆腐」「藺」という市街地にある町名が入っている。

